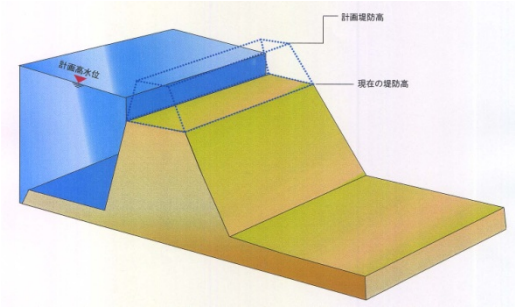
重要水防箇所について

別紙－2

◆重要水防箇所とは洪水時に堤防が崩れたり、洪水が堤防を越えるなどの水害を受ける恐れがあり、**重点的な見回りや点検が必要な箇所**をいい、**A・B・要注意の3ランク**があります。
◆A・Bランクは堤防の高さや大きさ、過去の災害実績などから指定され、要注意区間のランクには、工事中の箇所や新しく堤防が設置された箇所などが指定されます。

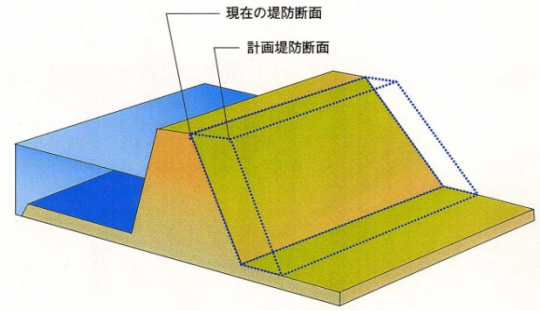
◇重要水防箇所の評定基準 ～ A：水防上最も重要な区間　B：水防上重要な区間

堤防高



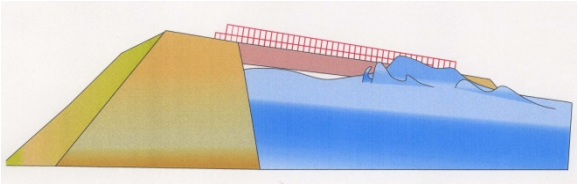
堤防の高さが、計画高水流量規模の洪水に耐えられる基準を満たしていない。

堤防断面



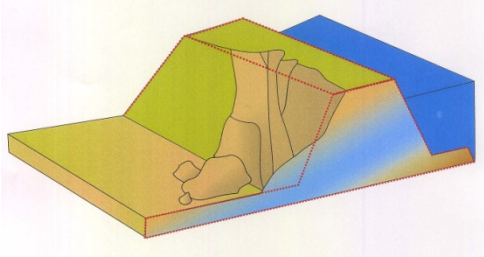
堤防の大きさが、計画高水流量規模の洪水に耐えられる基準を満たしていない。

工作物



堰・橋梁・樋管などの工作物が洪水の流下の妨げとなる箇所。

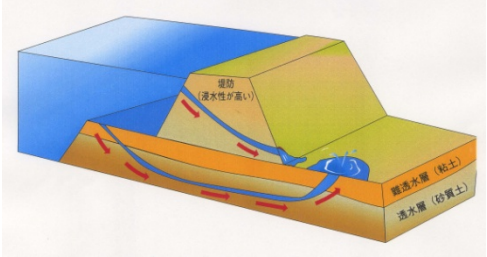
のり崩れ・すべり



Aのり崩れやすべりの実績があり、対策が終了していない箇所。

B堤防の土質等や堤防の基礎地盤から見て、のり崩れやすべりが発生する恐れがある箇所。

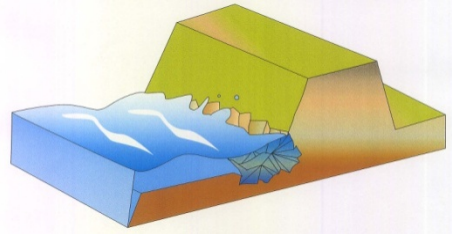
漏水



A漏水の実績があり、対策が終了していない箇所。

B堤防の土質等や堤防の基礎地盤から見て、漏水が発生する恐れがある箇所で、所定の対策が未対策。

水衝・洗掘



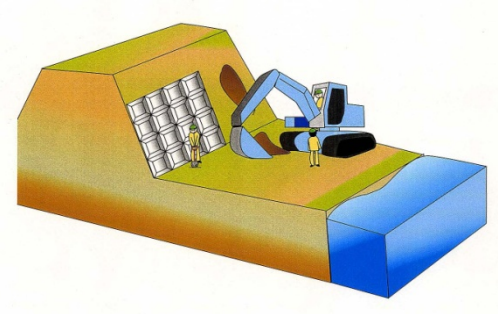
A流水の影響を受け、堤防前面の河床が洗掘されていて対策がなされていない箇所。

B橋台などの工作物の突出している所で、堤防護岸の根固め等が洗われ、一部破損している個所。

重要水防箇所

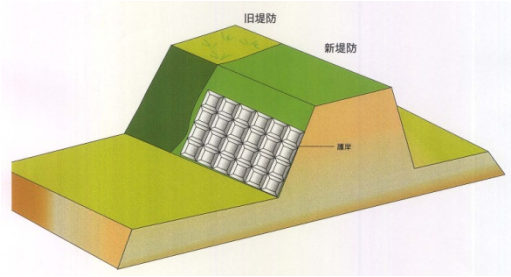
◇重要水防箇所の評定基準 ～ 要注意区間

工事施工



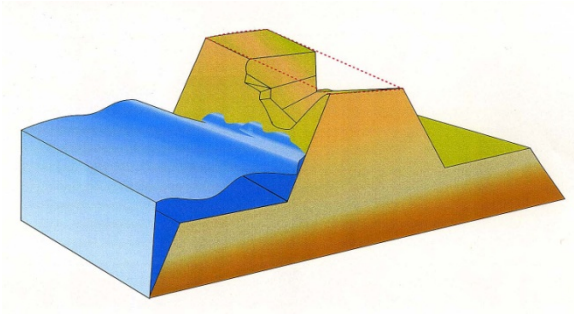
出水期間中に堤防を開削する工事をする箇所

新堤防



堤防築造後3年未満の箇所

破堤跡



過去に破堤した実績がある箇所

旧川跡

昔は川だったところを締め切って、堤防を設置した箇所

陸閘

陸閘とは、道路等と交差する河川堤防の高さを下げ、洪水時はこれを板材（角落し）で締め切る構造物。

流下能力不足 （H22より）

堤防高は基準を満足しているが河道断面が不足し、計画高水流量規模の洪水が流下したときに、想定される水位が現況の堤防高を超える、若しくは現況の堤防高までの余裕高が該当地点における堤防の計画上の余裕高に満たない箇所

開口部 （H22より）

道路等が交差するために堤防の高さを下げた箇所で計画高水流量規模の洪水が流下したときに、想定される水位が現況の堤防高を超える、若しくは現況の堤防高までの余裕高が該当地点における堤防の計画上の余裕高に満たない